

この度は、1ヶ月間三沢病院で実習させていただき、ありがとうございました。初めは、多くの手技を経験してみたいというとても抽象的な目標を持って実習に臨みましたが、実際に実習を行うと、自分自身の課題が具体的に見つかりました。



実習では、手術の機会が多く、さまざまな手術に入らせていただきました。大学病院の実習では主に下部消化管の手術を見学しましたが、三沢病院の実習ではさまざまな臓器の手術を満遍なく経験することができました。臓器の解剖を学んで手術に参加したつもりでしたが、実際に見たり、質問された際にわからなかったことが多々ありました。また、手術の流れがわからず、次に何の構造を探すのか、切離している構造が何かなどわからず、次に自分が何をすればいいのかわからないままに手術に参加していました。先生方に根気強く、丁寧に教えていただいたおかげで、実習が終わるころには臓器の解剖や手術の流れを理解しながら手術に参加することができ、より手術の理解を深めることができました。三沢病院で初めて腹腔鏡のカメラ持ちをさせていただき、先生方は自由自在に動かし、簡単そうに見えた視野の確保が、自分で実際に動かしてみると、先生方の指示があっても術者の求める視野を確保するのがとても難しいことを実感しました。腸管の切離や組織の縫合、動脈血の採血などの手技もたくさん経験させていただく中で、初めての手技でも先生方が近くで手順を一つひとつ確認しながら行うことができたため、確実に手技を行うことができました。器具を上手く扱えなかったり、手技が上手くできなかった際には、扱い方や気をつけるポイントを何度も教えていただいたり、手伝っていただくことで少しずつ手技ができるようになりました。カンファレンスなどがある際には積極的に声をかけていただき、外科だけでなく、他科とディスカッションを行い、連携しながら患者さんの治療を行なっている姿を見学することができました。

緊張していたり、時に迷子になった私に対し、外科の先生方だけでなく、研修医や他科の先生方、看護師の方々など、多くの方から気にかけていただいたり、声をかけていただいたことがとても嬉しかったです。研修医の先生方とは一緒に実習したり、お話しする機会があり、実際の研修のお話を伺い、来年のマッチングを考える機会ともなりました。

1ヶ月が短く感じるほど、充実した実習を行うことができました。今回の実習で学んだことや見つかった自分の課題をこれからの実習や研修に活かしていきたいと思います。優しく丁寧にご指導いただき、本当にありがとうございました。

実習期間：2024.2.5~2024.3.1